

コマツ コミュニケーション レポート

KOMATSU COMMUNICATION REPORT

激動する時代、メーカーはどのようにこの変化に挑み、取り組んでいるのか。コマツの製品をお使いのユーザーの方々をレポートしてご紹介いたします。今回は、プレス板金加工に加え、金型製作から各種溶接加工まで一貫して自社で行い、幅広い顧客の様々なニーズに、迅速に対応されている、三重県四日市市の株式会社豊和様にお話をお伺いしました。

Vol. 43 プレス板金加工・金型製作・各種溶接加工メーカー

株式会社 豊和

本社工場 〒512-1205 三重県四日市市平尾町2370番17 TEL.0593-26-8808(代) FAX.0593-26-8805 E-mail: houwa@city-net.ne.jp
 設立 1953(昭和28)年5月1日(創業 大正12年) 代表取締役 加藤 文雄 資本金 1,980万円 従業員数 47名



トピックに聞く。

『変化に対応した行動を実行し 全員が自走力をつけて 豊和を変革しよう!』



工場長 岩井 司 氏

●現在メーカーから高い信頼を得られているとお聞きします。創業から今日に至るまでの経緯についてお聞かせください。

創業は大正12年、四日市市浜田町において、豊田瓦斯工業として発足しました。

その後、戦時中は海軍関連の仕事も手掛けたりしましたが、戦火により本社および3つの工場を焼失してしまい、昭和28年の5月1日に新たに有限会社豊和製作所を設立しました。

設立後すぐに、それまで手掛けてきた溶接製罐、機械の生産に加え、プレス部門へも進出し、自動車部品プレス加工も手掛けるようになりました。

平成3年に社名を株式会社豊和に変更。翌年に、こちらの四日市あがた栄工業団地に全面工場移転をしました。

設立以来、長年に渡ってプレス板金加工を主体に様々な製品を手掛けて参りましたが、現在では、自動販売機部品をメインとしたプレス板金加工、金型製作、各種溶接加工を行っております。

●社員教育については、どのようなお考えをお持ちですか。

「モノ作りは人作り」とよく言われますが、まさにその言葉通りであると思います。

「人」を第一に考えないと、その企業に技術力は付いていかないと思うのです。

そういった思いから、弊社では、従業員と対話をしながら、時間をかけて、社員を育てて行く方針でいます。

例えば何か問題が発生した際も、すぐに答えを与えるのではなく、本人に考えさせるのです。考えることによって、興味を持つことができます。この「物事に興味を持つ」ことが重要なのです。若者が興味を持って物事に取組む企業を作って行きたいと思っています。

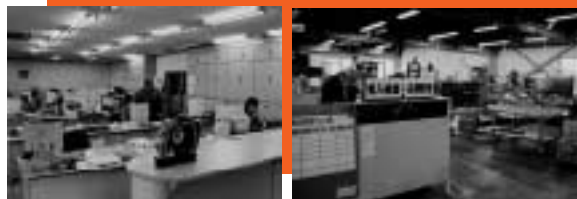
また、我々経営陣も時には、従業員と同じ立場に立って物事を見てみるという事が大切であるとも思っています。

“豊和”の社名に込められた思い。



現場を捉える。

納期の厳守と高い品質をつねに維持したモノづくり。年々厳しくなる顧客の要求に的確に応えていくために、一人ひとりが高い意識を持ち仕事に取り組んでいる。さらに時代を先取りした新たな取り組みも積極的に推進している。



●貴社はどのような企業なのか、その特徴をお聞かせ下さい。

古くからプレス板金加工を手掛けて参りましたが、最近では中でも、自動販売機部品の加工を主体にしています。

弊社ではプレス板金加工に、試作から携わり、量産へと展開していくといった体制をとっています。この「試作から」といった点が何よりも重要なのです。

試作を行うにあたって、様々な試行錯誤を繰り返し、今日まで日々技術力を培うことによって、その技術力を伸して来る事が出来たのです。

板金加工を行いながら、仕事を待つのではなく、提案できる企業であることをモットーにして参りました。

“受身の仕事”ではなく、“攻めの仕事”を行う事が会社として、重要な事と思っています。ですから今後は、自動販売機部品に限らず、違う分野の加工にも積極的に進出していきたいと思っています。

金型に関しても、将来は設計から製造まで、全て自社で行って行くべきだと思っています。そうすることが、更なる技術の蓄

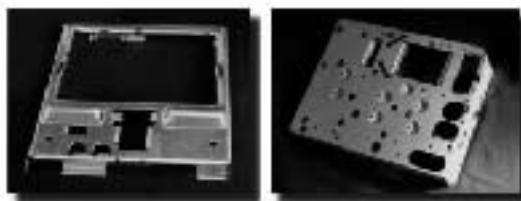
積となるからです。

様々な加工を手掛けて行くには、機械設備はとても重要な要素になってきます。

弊社では、プレス機は順送プレスを6台設け、順送をメインに行っています。

また、板金や溶接といった組み立ても手掛け、単なるプレス加工だけに留まらず、付加価値をつけた生産を行っています。

組立まで一貫して弊社で行うことが、お客様の管理を楽にすることにつながると思っています。



●自動販売機部品は、加工上どのような特徴があるのでしょうか。

自動販売機の部品ですから、殆どが薄板板金プレスの加工となります。

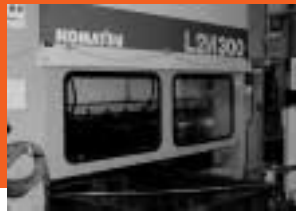
製品の特徴としては、細長いものなど、まず大きさが特殊と言えます。

また、殆どが機構部品のため、高い製品精度が要求されます。絞り加工等も数多く見られます。

従来のクランクプレスで加工行いますと決め押しができないため、製品精度にバラつきが出てしまいます。

そこで、今回リンクモーションプレスの導入を考えたのです。





●コマツのL2M300をご導入頂きましたが、その経緯をお聞かせ下さい。

弊社では、環境に優しい設備がとても大事であると思っています。

特にこの地域は、工業団地であるにも関わらず、騒音に関する規制が一般並みの数値と、かなり厳しいのです。しかし、生産のピーク時には24時間稼動することもありますから、低騒音で高生産を実現出来るプレス機が必要不可欠です。

また、弊社が手掛けています自動販売機部品は、細長く特殊なもので、なかなか合致するプレスがないのですが、コマツは弊社の商品に仕様を合わせてくれたのです。

地域住民の環境を考慮した「低騒音」で、300トンクラスでも「高速運転」できるプレスが欲しいという弊社の要望に、コマツは応えてくれたのです。

●実際にL2M300をお使い頂きまして如何ですか。

まず、音が静かですね。従来のプレス機より10～20%静かです。

そもそも、プレス機の騒音という問題に関しては、行政がとやかく言う以前に、プレス機メーカーが先に考えるべき問題であると思います。

その点、コマツのプレス機は、きちんと考えられていますね。そういった意味では他社を一步リードと言えるのではないのでしょうか。

そして加工面では、実際に使用したとこ

ろ、従来のクランクプレスでは製品精度のバラつきが大きかったものですが、コマツのL2Mはリンクモーションですから、決め押しが出来るので、バラつきなく、高い製品精度が出せ、安心してお客様に製品をご提供出来るようになりました。

改めてリンクプレスの良さを実感しました。これが、サーボプレスならさらにもっと良いのではと思っています。

また、扱っている製品が、特殊な大きさですから、自動化をするとすると、金型も含め、工程が増えてしまいますが、L2Mなら工程が短縮できます。

さらに、弊社では、ステンレスのプレス加工などもあるのですが、ステンレスですと金型のカジリが少ないため、一般の素材よりもリンクモーションの効果を大きく実感出来ました。

実は、弊社では去年は一日平均8万個の加工を行ったのですが、これもL2M300を導入したからこそ、受注出来たと思っています。



只今、大活躍中のコマツL2M300



進化はここから生まれる。

プレス板金加工・金型製作・各種溶接加工メーカー 株式会社 豊和

●今後の展望などをお聞かせください。

弊社がメインに手掛けて来ました自動販売機部品はもちろん、自動車関連部品をはじめ、今後は色々な分野の仕事を行って行きたいと思っています。

様々な分野の仕事を手掛けることによって、技術力を高めて行きたいのです。技術力を高めることにより、仕事の幅も広がります。そして仕事の幅が広がることによりまた新しい技術力を培うことが出来るのです。

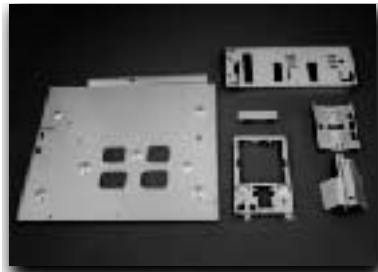
そのためにも、200トンや300トンのコマツのサーボプレスのような、生産力のある機械を使って新しい分野へ進出したいと思っています。

機械、そして人材と様々な新しい力を入れ、常に会社を前進させて行きたいのです。“受身の仕事”ではなく、“攻めの仕事”です。待っているだけでは何も起こりません。

様々な有力な情報も待っているだけでは、入って来ません。自ら外へ出て行き、色々な情報を捕らえ、それを社に反映し、技術力を伸して行きたいのです。

また、近年凄まじい活躍をしている東南アジア諸国が忘れかけている、「環境に優しい設備」という事こそ、今の日本の企業が忘れてはいけない、大事な事だと思えます。

この事を常に肝に命じて、“攻めの仕事”をして行きます。



KTS-Net

コマツとお客様を結ぶ
ネットコミュニケーション

KTS-Netとは、サーボプレスを活用して革新的なプレス加工を追求されているユーザーの方々の集まりです。皆様の情報受発信の場として、是非ご利用ください。
また、今後もこの誌面でKTS-Netのお客様をご紹介させていただきます。ご入会をご希望の方は、是非弊社のサイトをお訪問下さい。

製品紹介



■主要仕様

機種	L2M200/E2M200				L2M300/E2M300				L2M400/E2M400				L2M500/E2M500			
	NS	NL	WS	WL	NS	NL	WS	WL	NS	NL	WS	WL	NS	NL	WS	WL
加圧能力 KN(tonf)	2000(200)				3000(300)				4000(400)				5000(500)			
能力発生位置	6.5				6.5				6.5				6.5			
ストローク長さ mm	100	200	100	200	125	200	125	200	200	300	200	300	200	300	200	300
毎分ストローク数 spm	80-150	50-120	60-150	50-120	50-120	40-100	50-120	40-100	30-80	25-60	30-80	25-60	30-80	25-60	30-80	25-60
ダイハイト mm	475				550				700				700			
スライド調節量 mm	100				100				150				150			
スライド寸法(左右×前後) mm	1550 X 850	1850 X 850	1850 X 900	2150 X 900	2150 X 1150	2450 X 1150	2150 X 1150	2450 X 1150	2150 X 1250	2450 X 1250	2150 X 1250	2450 X 1250	2150 X 1250	2450 X 1250	2150 X 1250	2450 X 1250
ボルクスタ寸法(左右×前後) mm	1550 X 950	1850 X 950	1850 X 1000	2150 X 1000	2150 X 1250	2450 X 1250	2150 X 1250	2450 X 1250	2150 X 1250	2450 X 1250	2150 X 1250	2450 X 1250	2150 X 1250	2450 X 1250	2150 X 1250	2450 X 1250
ボルクスタ厚さ mm	230				250				280				280			
サイドオープン mm	890				940				1190				1190			
電動機 kW	VS30				VS37				VS45				VS55			

L2M

コマツハイブリッドACサーボプレス
KOMATSU HYBRID AC SERVO PRESSES

お問い合わせは

コマツ産機株式会社 鍛圧KBU 企画グループ
〒140-0013 東京都品川区南大井 6-3-7 アーバンネット南大井ビル
TEL. 03-5561-2692 FAX.03-5561-2877

インターネットアドレス <http://www.komatsusanki.co.jp/kets/>